

Welcome!

MOORE ALOHA FOUNDATION
& USA SURFING



ホストタウン交流の目的

下田市は2017年12月、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、アメリカ合衆国のホストタウンに登録されたことを契機とし、共にホストタウンに登録された牧之原市と連携しホストタウン交流事業を推進しています。

この度、10月28日から31日にかけて、「ムーア・アロハ財団」(以下、「財団」)に加え「USAサーフィン」の方々が来訪され、オリンピック・レガシーの創出とグローバルCITYプロジェクト推進を目的とした、主に下田中学校生徒との交流が実現しました。

ムーア・アロハ財団とは？

東京2020オリンピック女子サーフィン競技メダリストのカリッサ・ムーア選手が2018年に設立した非営利団体であり、若い女性が強く、自信を持ち、思いやりのある人になるという目標を掲げ、ハワイや米国本土を中心にサーフィンやヨガによるトレーニングキャンプや、ビーチクリーン等の社会奉仕教育を行っている団体です。

ホストタウン交流事業

ムーア・アロハ財団 & USAサーフィン の来訪

ムーア・アロハ

トレーニングキャンプ

今回行われた、財団と下田中学校生徒を中心としたトレーニングキャンプでは、アロハスピリッツ(愛情・絆・穏やかさ・謙虚さ・忍耐)について学ぶことを目的とし、ヨガによる呼吸法や清掃活動等による社会奉仕教育、サーフセッションといったプログラムが行われました。このキャンプは日本で初めて開催され、当日は下田出身のプロサーファーである、大野修聖氏も参加しました。

今回は、財団よりカリッサ選手とカリッサ選手の父でありコーチを務めるクリストファー氏、USAサーフィンよりジュニア代表選手のカイ・クシュナー選手、カイ選手の父で元プロサーファーのウォーレン氏、そしてコーディネーターとしてUSOPC ※元日本代表駐在員であるジョン・オオモリ氏が来訪されました。

トレーニングキャンプ最終日に行われた、2日間を振り返るフリートークでは、カリッサ選手からは「下田の波

の特徴や、波の読み方を理解すること」の大切さを、クリストファー氏からは「積極的に質問をすることや挑戦すること」や「サーフィンへの思いを両親に伝え、サポートしてもらおうこと」が大切であり必要であると、子どもたちや参加した保護者にお話いただきました。

最後にカリッサ選手からこの2日間本当に楽しかった。こちらでも学ぶことが多く、子どもたちからアロハスピリッツを感じた。来年も皆さんと会えることを願っている。次はぜひ子どもたちとハワイでのキャンプを実現したい。」とメッセージをいただきました。

最終日は、市長のもとに表彰訪問し、キャンプの成果と来年以降の子どもたちとの交流の継続についてお話いただき、その後は市内を散策し、午後より牧之原市へ移動しました。

11月3日は、牧之原市に下田中学校生徒が合流し、相良高校生徒との交流やサーフスタジアム静波での合同トレーニングを実施しました。USOPC:アメリカオリンピックパラリンピック委員会



カリッサ・ムーア選手



カイ・クシュナー選手・ウォーレン・クシュナー氏



クリストファー・ムーア氏



ジョン・オオモリ氏

